

西大和つうしん

2017年11月号
No.425



赤岳山頂より横岳を望む <2017年9月24日>

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第425号(2017年11月号)

【目次】

10・11月度山行計画	1
12月度山行計画	2
11・12月度カレンダー	3
山行・行事等参加メモ	4
山行報告	
・例会山行 《9/23-24》 八ヶ岳 赤岳(杉森・野路)	5
・例会山行 《10/1》 柳生街道 滝坂の道(杉森)	7
・自主山行 《10/7-10》 北アルプス 笠ヶ岳(石田・藤井)	8
室内例会だより(9/27)	10

10月度山行計画

県連交流山行

例会山行2 兵庫の山 《小野アルプス 紅山》 182m

【日程】10月29日(日) (L杉森)

11月度山行計画

～色づく山々、風になびく黄金色に輝くススキ～
ゆっくり登りながら秋を満喫しましょう
一般の方の参加歓迎です！

公開山行：会員の皆様、お知り合いの方をお誘いください!!

例会山行1 金剛山地 《葛城山》 959.2m (天狗谷コース)

【日程】2017年11月12日(日) (L橋本)

【集合】上牧駐車場 7時30分

【コース】天狗谷道～キャンプ場～葛城山頂上～水越峠

※歩行時間：約3時間30分

教育部主催「教育講座」第3回

(参加者は10月25日の室内例会で募集)

【日程】座学：11月10日(金) 《講師：藤本》19:30～事務所
実技山行：11月19日(日) 《L：野路》

【テーマ】歩行技術

主として雪上の歩行技術(アイゼンなし&アイゼンあり)についての基礎を学びます。

※実技山行の行き先は、参加者に合わせて座学で決定します。

※原則として実技山行のみの参加はできません。ただし、やむを得ない事情で座学の参加ができない場合は相談に応じます。座学のみの参加も歓迎します。

～3回に分けて、六甲全山を縦走しよう～

例会山行2 六甲山系 《六甲縦走 中コース》

【日程】11月26日(日) (L 亀高茂)

【集合】神戸電鉄 鈴蘭台駅 8:30

【交通】

①王寺 6:40→7:13 西九条 7:24→7:35 尼崎(阪神) 7:36→※

②生駒 6:51→7:12 難波 7:16→7:35 尼崎(阪神) 7:36→※

③大和高田 6:42→五位堂 6:45→7:05 鶴橋 7:09→7:35 尼崎(阪神) 7:36→※

※①②③(直通特急・山陽姫路行)→8:09 新開地 8:14→(鈴蘭台行)→8:28 鈴蘭台

【コース】鈴蘭台駅～(45)～縦走路出合～(30)～天王谷吊橋～(30)～鍋蓋山～(35)～大龍寺～(25)～市ヶ原～(1h10)～学校林道出合～(1h10)～摩耶山掬星台～(25)～青谷道分岐～(15)～虹の駅～(45)～摩耶ケーブル下～(20)～王子公園駅

※歩行時間 約6時間50分(昼食・休憩時間含まず)

※歩行距離 13.5 km

※今年度、2回に分けて予定していました六甲全山縦走ですが、5月21日の西コースは暑さのため予定の新神戸まで到達せず、菊水山から鈴蘭台に下山を余儀なくされました。そこで、今回は中コースとして鈴蘭台駅から摩耶山までのコースを設定しました。次回は来年度早々に摩耶山から宝塚までを東コースとして縦走し、全山縦走を完成する予定です。

12月度山行計画

～伊勢市近郊で伊勢湾他の全方向展望の楽しめる山へ～

例会山行1 布引山地 《経ヶ峰》 819m

【日程】2017年12月3日(日) (L 林)

【集合】上牧駐車場 7時00分

【コース】笹子谷コース入口Pより～(30)～林道終点～(30)～北笠岳分岐～(30)～経ヶ峰～(20)～北笠岳分岐～(1h)～北笠岳 789m～(40)～林道終点～(20)～コース入口P

※歩行時間：約4時間、歩行距離：約9.0km、帰宅時刻：17:00頃

西大和山の会 カレンダー

11月			12月		
1	水		1	金	教育講座 第4回座学(藤本)
2	木		2	土	県連・理事会、県連・初級登山学校・実技
3	金		3	日	例会山行1《経ヶ岳》(林)
4	土		4	月	
5	日		5	火	
6	月		6	水	
7	火	県連・理事会	7	木	
8	水		8	金	
9	木		9	土	運営委員会(事務所:13:00~)
10	金	教育講座 第3回座学(藤本)	10	日	教育山行《ルートファインディング》(藤本)
11	土		11	月	
12	日	例会1 公開山行《葛城山》(橋本)	12	火	
13	月		13	水	
14	火		14	木	
15	水		15	金	
16	木	県連・初級登山学校・座学	16	土	西大和つうしん原稿締切
17	金		17	日	例会山行2《高野山石道》(辻)
18	土	県連・初級登山学校・実技	18	月	
19	日	教育山行《歩行技術》(野路)	19	火	
20	月		20	水	
21	火		21	木	
22	水	西大和つうしん原稿締切	22	金	
23	木		23	土	
24	金		24	日	12月度室内例会／忘年会
25	土		25	月	
26	日	例会山行2《六甲縦走・中コース》(亀高)	26	火	
27	月		27	水	
28	火		28	木	
29	水	11月度・室内例会	29	金	
30	木	県連・初級登山学校・座学	30	土	
			31	日	

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	10/25	10/29 例会 2	教育講座		11/12 例会 1	11/26 例会 2	12/3 例会 1	
		室内 例会	交流 山行	11/10 座学	11/19 実技	公開 山行	六甲 縦走 2	経ヶ岳	
1	(窪田)								
2	都築								
3	藤井								
4	(石田)								
5	田中悦								
6	島崎								
7	田中初								
8	村田								
9	林							LO	
10	辻								
11	勝尾								
12	藤本			講師					
13	杉村								
14	高橋								
15	玉越								
16	阪口								
17	橋本					LO			
18	今井								
19	亀高						LO		
20	船江								
21	野路				LO				
22	中								
23	杉森		LO						
24	上田								
25	永井								
26	川田								
27	高岡								
	合計								
	緊急 連絡先								

L:リーダー、○:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

山行報告

例会山行2 (テント泊山行)

八ヶ岳 赤岳 2,899m

【日 程】9月23日(土)～24日(日)

【参加者】L 亀高・SL 辻・藤井・島崎・杉村・野路・杉森 (7名)

9月23日(土) 曇りのち晴れ

【コース】法隆寺IC(5:00)⇒美濃戸口(9:50)～美濃戸(10:55)～行者小屋(13:55)

昨年、天候悪く赤岳から北八ヶ岳に変更したが、今回リベンジすべく美濃戸口の駐車場より出発する。柳川を渡って角木場を過ぎ、平坦な雑木林の林道を進む。約1時間で美濃戸に着く。美濃戸山荘前で北沢と南沢の分岐点となり、南沢の登山道に入る。北八ヶ岳に劣らずダケカンバや苔の美しい樹林帯が続く。薄曇りの幻想的な雰囲気の中を緩やかに登って行く。河原に出て視界が開けてく



るところには、青空が見え出し紅葉も映えて秋の雰囲気を感じるようになる。急坂を登りきると正面に横岳が見え出した。樹林に覆われた北八ヶ岳と違ってゴツゴツした大きな岩肌に圧倒される。また手前にそそり立つ大同心も見事である。阿弥陀岳が右横に覆いかぶさるようになると、赤岳が姿を現した。以前に来たことがあるが、



赤岳の雄姿を見るのは初めてである。さすが八ヶ岳の主峰、実に堂々として崇高さを感じる。暫く見とれているとこれまでの疲れも吹き飛んでしまう。救助用ヘリポートを過ぎるとまもなく行者小屋に着いた。屋根には以前にはなかった太陽電池パネルが設置されており、時の流れを感じさせる。テント場にはすでに50以上のテントが張られていた。

(記: 杉森英二)

9月24日(日) 晴れ

【J-タイム】 行者小屋(5:55)～地蔵の頭(7:05)～赤岳展望荘(7:15)～赤岳頂上山荘(7:55/8:10)～赤岳頂上(8:15)～阿弥陀岳分岐(8:45/55)～行者小屋(9:40/10:40)～美濃戸登山口(12:35/12:50)～美濃戸口駐車場(13:40)

夜がうっすらと明け始めた六時ごろ行者小屋を出発。地蔵の頭の稜線までは標高差約 350m の急登である。針葉樹林帯のザレ場を登って行くが、整備された歩きやすい道である。

ダケカンバの林を抜けると視界が広がり、赤岳



が見えてくる。鎖場や梯子の連続で、道は急傾斜になって苦しい登りとなる。やがて尾根に出るとお地蔵様が迎えてくれ、ホットする。此処から暫く緩やかな尾根歩きになり、赤岳直下の急斜面を登れば山頂である。

ハケ岳の主峰、赤岳山頂からは、槍ヶ岳、大キレット、穂高連峰、北アルプスの美しい山並みが・・・雄大な富士山が・・・。今回はガスで見ることが出来なかった360度・大パノラマの眺望に感動する。お天気次第でこんなにも景色が違って見えるものか・・・。

赤岳からは岩稜帯を慎重に下り、文三郎尾根を下山。中岳から阿弥陀岳の稜線に縦走路が見える。今回は時間的に無理なので、またいつか・・・歩いてみたいコース



である。阿弥陀岳分岐から行者小屋まで45分程の道程。テントを片付け、早めの昼食をすませ、昨日のコースを下山。

快晴の中、まだ11時前の下山・・・下山するのが惜しい・・・行者小屋からは、今登って来たばかりの赤岳、左には岩峰の横岳が、右には阿弥陀岳が、青い空に美しく映えている。まだまだ未練の中の下山でした。

(記：野路政子)

例会山行1 柳生街道 滝坂の道

【日 程】10月1日(日) 晴れ

【参加者】CL 村田・AL 島崎・ASL 藤本・BL 田中悦・BSL 林・都築・田中初・勝尾・杉村・阪口・橋本・船江・野路・杉森・上田・川田・高岡(17名)

【コースタイム】JR 奈良駅(8:11)⇒忍辱山(8:46)～円成寺(8:50/9:20)～五尺地藏(10:50)～峠の茶屋(11:20/35)～地獄谷への分岐(11:40)～地獄谷石窟仏(12:10)～首切り地藏(12:38/13:15)～春日山石窟仏(13:30)～春日大社(14:50)～JR 奈良駅(15:40)

忍辱山より柳生街道を下る。直ぐに名刹円成寺に着く。運慶作の国宝大日如来坐像は東京出張のため、残念ながら拝観できなかった。しかし、重要文化財の本尊阿彌陀如来像他、多くの仏像や伽藍などをじっくり拝観して廻る。円成寺を出て杉林の中の石畳道に入る。木漏れ日が射して爽やかで気持ちよく歩く。30分程して休憩、衣服調整をする。リーダーからのおはぎの差し入れに皆狂喜し舌鼓を打つ。美味しい奈良漬も頂く。すべてリーダーの手作りである。ご馳走さまでした。

比較的平坦で広い道を進むと小高い茶畑の中に五尺地藏が立っている。きっと道中の安全を見守ってきたのだろう。民家、茶畑などを過ぎ山道に入って間もなく、石切峠近くの「峠の茶屋」に着いた。旅籠風の古風な店で時代を感じる。わらび餅を食べて休憩。今回は食べ歩き山行だ！ 分岐点で滝坂の道に入り、尾根筋や川沿い、アップダウンの続く細い山道が続く。雨で足元が悪い時は危険であるが、変化に富んで面白いコースである。地獄谷石窟仏では、石窟に生えた苔の緑と石仏に残る朱が、えも言えぬ美しさを見せていた。首切り地藏に着く。三叉路で古くから街道の目印になった所である。ここで昼食・休憩をとる。その後、春日山石窟仏、朝日観音、夕日観音、寝仏などに足を止め、ゆっくり拝観する。どの石仏も歴史を感じさせて素晴らしい。一方、春日奥山原始林の中で植物相も豊富である。せせらぎ



の音にも癒される。奈良市の郊外でこんなにも自然が残っていることに驚く。ようやく市内に入り春日大社にお参りする。大勢の観光客で混雑しており、今までの静寂さとの違いに少し戸惑う。人ごみが続いている奈良公園内、三条通りを通りJR奈良駅に着いた。

秋晴れの下、約13kmの柳生街道を和気あいあい談笑しながら歩き、親睦を深めると同時に石仏巡りを十分楽しめた山行だった。

(記：杉森英二)

自主山行

北アルプス 笠ヶ岳 2,898m～双六小屋～鏡平山荘

【日 程】10月7日(土)～10日(火)

【参加者】L 藤井・SL 島崎・石田・杉村(4名)

10月7日(土) 曇りのち雨

【J-タイム】新穂高温泉(11:45)～わさび平小屋(13:30)

雨が降ったり止んだりだったが、出発、途中陽がさしてきたりして濡れないうちにわさび平に到着。ブナやクルミなどの大木がしげる林の中の道は、紅葉まではあと少し。小屋に入ってから雨脚がきつくなり、後から来る人たちはずぶぬれ。

10月8日(日) 晴れ

【J-タイム】わさび平小屋(5:50)～登山口(6:00/10)～杓子平(11:10/30)～笠新道分岐(13:10)～笠ヶ岳山荘(14:55/15:15)～笠ヶ岳山頂(15:40/16:20)～笠ヶ岳山荘(16:30)

夜半から雨が上がり、さわやかな気持ちで笠新道を登り始める。登山口からいきなり急登が続く。登る人が多く、抜きつ抜かれつ、人波が延々と続く。

登るにつれて槍から穂高、焼岳までの稜線や乗鞍岳、御岳山までもがすぐそこに見え、苦しいけどわくわくする気持ちになった。しかし杓子平までの道のりは遠い。ダケ樺やナナカマドはすでに葉っぱがなく、杓



子平の草付きも晩秋を感じさせる色になっている。広々とした杓子平からは、周辺の山並みに加え笠ヶ岳山頂まで見ることができた。笠新道分岐から稜線の登り下りを繰り返してキャンプ場へ、そこからは岩場の登り道、やっとの思いで笠ヶ岳山荘に到着。部屋にザックをおいて山頂へ上る。

360度の展望を眺めているうちに、ガスが流れてきてブロッケン現象が起こった。いあわせた皆で影のかたちをいろいろ作っておおいに楽しんだ。

小屋は満員で窮屈だったが、槍ヶ岳山荘、穂高岳山荘、西穂山荘の明かりが見えて慰めになった。

(記: 石田千栄子)

10月9日(月) 晴れのち曇り

【J-タイム】笠ヶ岳山荘(6:15)～笠新道分岐(7:35)～秩父平(8:40/45)～弓折岳(10:45)～双六小屋(12:15/13:00)～弓折乗越(14:15/25)～鏡平山荘(15:05)

日の出時刻は5時52分、朝食の後、山荘のすぐ前から槍から西穂までの稜線が見渡せて、大キレットから上る神々しいご来光を見ることができた。ハヶ岳や富士山まで見えて大感激！

快晴のもと、右手に槍穂高、振り返れば笠ヶ岳、見おろせば草紅葉の雄大なカールが広がる稜線を歩く。昨日の辛い登りと違って、爽快な3000メートルの稜線歩きは心が浮き立つ。

笠新道の分岐をやり過ごし、アップダウンを繰り返して抜戸岳、大ノマ岳、弓折岳を越えて行く。弓折岳を少し下った弓折乗越からは、赤い屋根に青い池が点在するメルヘンチックな今夜の宿の鏡平山荘が見渡せた。我々は西鎌尾根の鞍部に立つ赤い屋根の双六小屋までもう少し稜線歩きを楽しむことにする。草紅葉の双六小屋は風が強く寒かった。ガスも上がってきて、双六岳までの急登を

登る気力もなくなってきて小屋でゆっくり休憩をして引き返すことにした。

弓折乗越まで戻り、眼下に見える鏡平山荘まで下る。ガスの合間に見え隠れしていた槍も小屋に着くころには、見えなくなってしまった。楽しみにしていた鏡池に映る槍を見ることはできなかった。昨日のぎゅうぎゅう詰め小屋とは違って今夜はゆっくり個室でくつろぐことができた。



10月10日(火) 曇りのち晴

【3-2/11】 鏡平山荘(6:15)～わさび平小屋(9:15/25)～新穂高温泉(10:35)

今朝も雲が立ち込めていて山の稜線は見えない。岩を敷き詰めたような道をどんどん下っていく。シシウドヶ原まで来ると視界が急に開けて美しい紅葉に染まった山々が現れる。まさに錦繡の世界、息をのむような美しさだった。紅葉に酔いしれながら歩き、新穂温泉に無事到着。

富山の1さんとも久しぶりに一緒にの山行きができ、天気と紅葉に恵まれ、皆様に感謝です。

(記：藤井益子)



室内例会だより

【日 時】2017年9月27日(水) 7:30~9:00 事務所

【出席者】都築、藤井、田中悦、島崎、田中初、村田、林、勝尾、杉村、玉越、
阪口、橋本、野路、中、杉森、上田、高岡

1. 山行計画

10月1日(日)例会山行1 柳生街道《剣豪の里 滝坂の道》……………L 村田
10月29日(日)例会山行2 (県連交流山行)兵庫の山《小野アルプス紅山》……L 杉森
11月12日(日)例会山行1 (公開山行)金剛山地《葛城山天狗谷コース》……………L 橋本

2. 教育部主催「教育講座」第2回

テーマ: テント泊

座 学: 10月6日(金) 講師: 藤本

実技山行: 10月14日(土)~15日(日) 行先は座学時に決定……………L 野路

3. 山行報告

8月16~20日 自主山行 北アルプス《槍ヶ岳・大喰岳・中岳・南岳》L 亀高……………3名
8月23~24日 自主山行《針ノ木岳/針ノ木小屋》L 島崎……………4名
9月3日 例会山行2 県連広域搜索訓練:台高山脈《三峰山周辺》L 藤本……………8名
9月9~12日 自主山行 北アルプス《西穂高岳・ジャンダルム・奥穂高岳》L 島崎……………3名
9月10日 例会山行1 兵庫の山《雪彦山》L 船江……………9名

4. 山行中のヒヤリハット報告

- ①8月16日~自主山行・北アルプス: 周到に山行計画が立てられていた。時間的には余裕があった。予備日がほしいと思った。(膝を痛めていたメンバーが参加されていたことに関し) 万全な体制で臨んで欲しいと会長よりコメントあり。
- ②8月23日~自主山行・針ノ木岳/針ノ木小屋: 雪渓が空洞化しているところがあり注意して歩いた。雪渓歩行後もアイゼン装着で少し歩いたので、外す方がよかったのでは。雨の中での急坂の下り、滑りやすく足の負担が大きかった。雨、汗で体が濡れ冷え切ってしまい、すべて着替えた。着替え一式必需品だと改めて感じた。悪天候で撤退となったが、下山すると山頂の悪天候とは違い、晴れていた。山の天候の怖さを再認識した。
- ③9月9日~自主山行・ジャンダルム: ジャンダルムに向かう途中でルートファインディングをしなければいけない箇所があり、慎重に確認しながら進んだ。ロープ確保をせず訓練したのが非常によかった。
- ④9月10日 例会山行・雪彦山: 滑りやすい道で1名転倒。体調不良により1名途中で下山することになる。メンバー1名付き添って下山するようにしたが、その連絡がうまくされず、別々での下山となった。

5. 連絡その他

★県連関係

・県連交流山行(本会例会山行2) 担当: こぶしの会

日程: 10月29日(日) 行先: 小野アルプス 紅山182m・惣山198m

参加希望者は、10月10日迄に、本会山行リーダー杉森さんか藤本さんまで連絡してください。

- ・県連の教育、訓練について
 今後も継続して行う方がいいと思っている人の数を調べる
 ①初級登山学校……10名 ②ハイカーのための搬出訓練……12名
 ③広域捜索訓練……9名 ④岩場歩き、岩稜歩行訓練……13名
 (④については、講師は労山・奈良ハイク・JAC等からの派遣を想定)

★本会から

- ・9月16日運営委員会の決定事項の内容を会長から報告

- (1) 会則、山行規定等の見直し、改定について
 会報部長亀高さんに作成して頂いている改定案の検討。来年4月より施行できるよう進めている。
- (2) 来年度は役員改選の年になる。色んな方が役員となり会を運営して頂きたいので、依頼があった場合は、引き受けて下さるようお願いしたい。
- (3) 例会時に自主山行を行う事について
 「長期にわたる泊まり山行は早くから計画を立てるので、例会と重なることは仕方がないが、日帰り例会山行に自主山行を計画するのは、やめてほしい」との発言。

この発言は、9月16日の運営委員会決定とは異なった内容だったので事務局から運営委員会決定の内容を報告。「最近山行が多様化し、自主山行も多く計画されている。自由に計画できるよう制約は設けない」(運営委員会だより記載)

この運営委員会の決定内容に関して以下の意見がでた。

- ①年間の山行スケジュールが出ているのに会員以外の人と自主山行を行うのはともかく、会員同士での自主山行を行うのは計画を立案しているリーダーの立場を考えるとどうなのか？
- ②山行リーダーに断りを入れて自主山行を行うようにするのか？
- ③夏山自主山行などで例会山行の参加者がいなく中止にした山行があったが、その時のリーダーは計画を立てているのだから日程を変更して行うようにした方がいいのではないか。会長から夏山の時期は自主山行が多く、大変暑い時期なので来年度からは例会山行を設定しないことも検討中と話された。これに対し、夏山には参加されない方もおられるのではないか。

- ・事務局より

上記(3)に関して本日の意見を踏まえ、運営委員会で再度検討します。

(記：橋本紀子)

西大和つうしん

第 425 号 (2017 年 11 月号)

2017 年 10 月 25 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>